

日本環境教育学会  
 小中学生によるカーボンニュートラルな社会づくり提案プロジェクト  
 第2回 2023年度「2050年の社会とわたしたちの暮らし」アイデア  
 応募用紙

応募者の名前（必須）	今野 寛人	学年 （必須）	中3、中2
ふりがな	こんの ひろと	小4、中1とか	
共同の応募者名前 （いれば記入ください）	伊藤旬里、古谷美結、最上東陽、伊藤綺奏、武部希空		
ふりがな	いとうしゅんり、ふるやみゆ、もがみとうよう、いとうあやか、たけべのあ		
学校や団体名（必須）	大仙市立大曲南中学校生徒会		
ふりがな	だいせんしりつおおまがりみなみちゅうがっこうせいとかい		
大人の応援者名前 （必須）先生や家族	島田智		
ふりがな	しまださとる		
連絡先 住所（必須）	〒014-1412 秋田県大仙市藤木字上野中70-2 大曲南中学校		
電話（必須）	0187-65-2001		
メール	<a href="mailto:satoru-shimada@edu.city.daisen.akita.jp">satoru-shimada@edu.city.daisen.akita.jp</a>		
①「2050年の社会と暮らしはこうなっている、こうしている」アイデアは別紙（書式自由）			
②地球温暖化についてどんなことを勉強してきましたか？（学習の状況）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギーの割合を上げることが課題。特に日本は、洋上風力発電に力を入れるべきだ。</li> <li>・給食の残飯を肥料としての野菜の栽培をとおして、地産地消でフードマイレージを抑えるとともに、フードロス対策が喫緊の課題だということがわかった。</li> <li>・気候変動ミステリー授業を受けて、世界の様々な課題が気候変動に影響を与え、それらの課題も複雑にながっていることを学んだ。グローバルに考えることと、身近なフィールドで行動することが大切だ。</li> <li>・キリバスの中学生とのオンライン交流を通じて、地球温暖化の深刻な影響を実感した。</li> <li>・「家づくり」で地球温暖化防止に効果的なのは「断熱性能」だということを学んだ。</li> </ul>			
③あなたがこれまでに取り組んできたことはなんですか？（活動の状況）			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、地球温暖化の現状を知ること。地球温暖化の様々な悪影響を知り、その課題について今の自分に何ができるのか考えること。そして、できることから行動すること。</li> <li>・個人では、家での節電・節水、ゴミを減らすことと分別すること、食事を残さず食べることなどに取り組んだ。これは、家族と協力して行った。</li> <li>・生徒会としては、アルミ缶・古紙回収（約8万円の収益）、小学生と合同での親水公園クルーンアップ（海と日本プロジェクト）、コンタクトレンズケース回収（10か月で6.3kg回収）などに取り組んだ。また、大仙市中学生サミットで、SDGsへの取組を提案した。</li> </ul>			